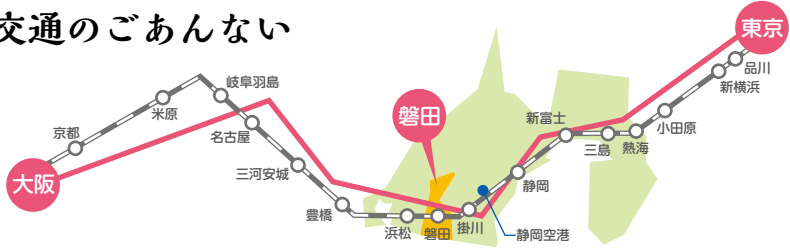


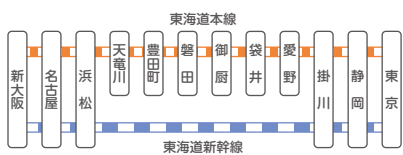
ボクと一緒に
歴史のロマンを
探してみようよ！



交通のごあんない



●電車でお越しの方



東海道本線 浜松～磐田(12分) 磐田～掛川(14分)
東海道新幹線 東京～掛川(こだま号約1時間50分)
新大阪～浜松(ひかり号約1時間25分・こだま号2時間)

●車でお越しの方



★磐田の名所・観光のこと、お気軽にお問い合わせください。

磐田市観光協会

- ◆〒438-0078 静岡県磐田市中泉1-1-5 (JR磐田駅北口)
- ◆TEL0538-33-1222 ◆営業時間 9:00～18:00
- ◆休館日 月曜日(ただし、月曜日が祝日の場合はその翌日。12/29～1/3)
- ◆<https://kanko-iwata.jp>

携帯電話でイベント
情報を確認できます



ありがた歩記

磐田
豊田
地区編

磐田の寺社をぐるぐると散策
歴史の香り漂うまちに誘われて



其の壱

豊田地区 ありがた歩記

あるき

みんなに良い
ご縁がありますように...

今回は、旧東海道の池田から宮一色あたりの寺社仏閣を中心に紹介します。平家物語にも登場する熊野御前や徳川家康の伝説も数多く残されています。また、東海道の要所となっている池田の渡しがあることから、地域の信仰も天竜川に関係することからや船、水の安全にまつわるものが多いです。ノスタルジックに寄りながらのんびり歩いてみよう！ステキな風景に出会えるにー♪



◎磐田市
じっぺり

お寺・神社巡りがもっと楽しくなる!!

和尚さんに聞いてみよう!!

お寺巡りが今とっても人気ですが、お寺や神社を訪れてみなさんは何をしますか? お願い事をしたり、仏像をみたり...。せっかく訪れたのだから、和尚さんとお話してみませんか? 和尚さんは、お寺のこと、仏教のこと、地元のこと、いろんなことをたくさん知ってるんですよ。和尚さんを見つけてぜひお話ししてみましょう。境内で誰かにあったら挨拶しましょうね!

観光ボランティアさんに 教えてもらおう!

ふれあいガイドさんって知ってますか? なんとな〜知ってるけど...って方がほとんどかと思えます。ガイドさんは、観光スポットや名所・旧跡などを一緒に行って案内してくれるんです。もちろん案内料はいたっていません!! 地元で伝わるお話やパンフレットには載ってない裏話などなど... おもしろいお話がたくさん聞けますよ〜2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。磐田の魅力をたっぷりお届けします! かわいいお問い合わせは、磐田市観光協会 ☎0538-33-1222まで

和尚さんって怖くないかなー
座禅させられて
カーッ! ってやられちゃうよ!



大丈夫!
和尚さんは
楽しくて
やさしい人
ばかりだよ!

地元の人
市外から訪れた人も
誰でも案内します!



観光ボランティアさんとイベントに参加された方々

お寺はみんなの場所で
大切な文化財もたくさん
あるから丁寧に参拝しよう!



おすすめの巡り方紹介

長い歴史と文化が育んだ町を巡る

地元の歴史がいっぱい!

境内の向かって左側のお地藏さまは延命山地蔵寺にあったもので、御撫延命地藏とも呼ばれています。その前にお堂がある宮一色村にあった神社を習合したときに建てられた祠で、地域の歴史がたくさん詰まった場所です。

天然記念物の見ゴトな長藤

長藤をぜひ見に来てください! 熊野の長藤は房の長さが1m以上になります。(見頃は4月中旬～5月上旬) 藤の推定樹齢は800年で、国と県の天然記念物に指定されています。また、境内には平安時代に平宗盛に仕えた熊野御前とその母の墓があります。

永い歴史と信仰
松向寺

地図
番号



気がなくとも
大丈夫!

徒歩
約15分

みんなの神様
若宮八幡宮

地図
番号



徒歩
約30分

熊野の伝説と長フシ
行興寺

地図
番号

広い境内に壮観な本殿

29村の神様が合わせてお祀りされて郷社若宮八幡宮となった証拠に、本殿の後ろ側にそれぞれの町の神様が勢揃い! こんなに神様が集まっているとなんだかとてもありがたい気持ちになります。時間があったらお参りさせていただきます。

イベントに参加してみよう!

磐田市観光協会では、いろいろなイベントを只今企画中!! ぜひ、いろいろなイベントに参加してみよう! 磐田駅前の観光案内所では磐田にとっても詳しいコンシェルジュが皆さんの旅のアドバイスをしてくれます。観光の際はぜひお立ち寄りください。

★季節のイベントなどの情報がたくさん掲載された磐田市観光協会のホームページも要チェック!!



いろんなイベントが
たくさんあるんだね!



観光案内所で
教えてくれるよ!

豊田地区の寺社巡り。其の二

池田の渡しや熊野御前の昔話、徳川家康の伝説などがたくさん残されています。歴史のロマンを感じる街並みを歩いて、新しい発見と出会いをみつけましょう。



中世から東海道宿の宿や渡船場として栄えましたが、特に徳川家康から天竜川の渡船の特権を与えられて以来、経済・文化交流の場として栄えたそうです。平安から江戸時代、明治から昭和、長い歴史がたくさん詰まったまちです。懐かしさを感じる路地を歩いてたくさんご利益をいただきますよ。



撰取山
1 行興寺
GYOUKOUJI

宗派 時宗
ご本尊 阿弥陀如来など

本尊は阿弥陀如来と観世音菩薩、大勢至菩薩。別に熊野御前の念持仏であった十一面観音を安置しています。熊野が母の死後に建てたお堂がはじまりで、正応3年(1290)に時宗として開山されました。境内には熊野が植えたといわれる長藤があり、国や県指定の天然記念物になっています。

濟緑山
2 誓渡院
SEIDOIN

宗派 曹洞宗
ご本尊 聖観音菩薩

誓渡庵として永正元年(1504)の創建され、のちに誓渡院と改称されました。昔は延命地藏地を本尊としていましたが、現在では聖観音菩薩が本尊とされています。脇仏には帝釈天と池田渡船玉大明神(水天宮)がまつられています。むかし、末寺として観蔵寺という寺がありました。ここには徳川家康が武田軍に追われた際、土地の人が家康に味方して天竜川の船という船のイを集め、寺の池に隠して武田の進撃を妨げたというイ隠しの池がありました。

瑞雲山
3 妙法寺
MYOUHOUI

宗派 曹洞宗
ご本尊 薬師如来

応永19年(1412)に日蓮宗としてはじまり慶長7年(1602)に曹洞宗に改宗しました。明治に入り大火により古記録類が焼失しました。山門を入ると左手に延命地藏があり、訪れる人々が体の悪いところを治すために祈られ、わら草履(足が悪い)や穴あき石(耳が遠い)が奉納されています。

士石山
4 林昌寺
RINSYOUJI

宗派 曹洞宗
ご本尊 釈迦牟尼仏

元龜2年(1572)に真言宗として創建されましたが天正年間(1573)に曹洞宗に改宗しました。境内に安置されている薬師仏は慶長7年(1602)の天竜川の洪水のときに流れてきたと伝わっています。高さは163cmもある大きな坐像で両脇に日光・月光の菩薩も祀られています。

5 若宮八幡宮
(郷社)

毎年10月に17台の屋敷が華やかに引き回される祭典が行われます。明治中頃から林田家の盛んな土佐邸で奉納祭典や子供たちによる「わんぱく祭典」も行われます。

6 興徳寺

明治11年(1878)、明治天皇御巡幸の際、この地の熊谷三郎馬郎が休息されました。石碑はそのことを記して大正9年に建てたものです。

7 松向寺

ご本尊は江戸の日本橋から63番目の一軒家が置かれた場所です。

お堂には金比羅山大権現の木像が祀られています。病氣平癒・身体健全・交通安全のご利益があるそうです。

5 若宮八幡宮
WAKAMIYAHACHIMANGUU

祭神 大鷦鷯命(仁徳天皇)、
譽田別命(彦神天皇)、
息長足姫命(神功皇后)

ご利益 合格祈願、家内安全、商売繁盛など

明治7年に近郷29村の神社を合祀して郷社若宮八幡宮として創建されました。昔の秋祭りでは力自慢の若者を集め、相撲が行われたそうで、年々盛大になっていきました。現在でも土俵があり、相撲大会や、秋祭りの奉納相撲などが行われています。明治8年、境内に遠州三大学校の一つである、西洋風3階建の西之島学校が作られました。西之島学校は地域の初等教育の基礎を築きました。

長松山
6 興徳寺
KOUTOKUJI

宗派 曹洞宗
ご本尊 虚空蔵菩薩

建長年間(1190)頃に真言宗として草創されたと伝わっています。当時は岡本山弘徳寺といわれていました。入り口には六地藏、子どもの安全と成長を見守る子安地藏、境内の奥には赤い石を供えられた、いぼとり地藏が祀られています。赤い石でいぼをなでると自然に取れるという言い伝えによるもので、多くの信仰をあつめています。

神宮山
7 松向寺
SHOUKOUJI

宗派 曹洞宗
ご本尊 十一面観音

元和5年(1619)に創建。境内の地藏堂には御撫延命地藏が祀られています。元禄14年(1701)に現在の本堂を建立し約300年の歴史を持つ建物です。本堂内には縦40cm、横170cmほどの大きな透かし彫りの欄間があります。極彩色が施され、江戸時代彫刻の特徴をよく表しています。その他に、文化5年(1808)に疫病が大流行した際に村人のために建てた金比羅堂が今でもあります。

一言観音と挑燈野のお話

◎元龜3年(1573)、武田軍3万5千と徳川軍4千の一言坂の戦いで、家康が負けて逃げるとき、一生に一度それも一言だけ叶えてくれるという一言観音に「助けてくれ」と頼んだところ、戦運が有利になって逃げる事ができました。元は姫街道沿いにありましたが、今は智恩斎前に移されています。

◎一言坂の戦いで家康軍は退却に際し、腰までもぐる沼地に提灯をかけて陣地と見せかけました。押し寄せて来た武田軍は沼に落ち大損害を受けました。村人たちは、この戦いで死んだ戦死者を弔いこの地を挑燈野と名付けました。昔は夏になると大きなホタルがたくさん飛んだそうで、戦死者の霊だと伝えられています。

引き継がれる伝統
池田やかた祭り

江戸時代から引き継がれる祇園祭の祭礼の一つです。毎年8月に麦わらを井桁に組んだ台座に竹などで屋敷を作り、そこへ奉納されたホオズキ提灯を飾り火を灯して暗い闇の川へ流す、川供養・厄除けを祈る行事です。地域の方によって伝統が受け継がれている幻想的な夏の夜の風物詩です。

ハイカラな校舎 **西之島学校**

西之島の豪農、熊谷青城が私塾を開いたのが始まり。初めは自分の家で、次は近くの徳蔵寺に移し西之島学校と改めました。さらに校舎が手狭となったので若宮八幡宮境内に新校舎を建てました。「いい学校を作ろう」を合言葉に、村人が藁草履を作り、それを売って建設資金の一部にしたという話が伝わっています。フランス風の三階建の建物で、とんがり屋根や彫刻のある太い円柱が使われてあり立派な校舎でした。

一言観音

ご本尊は江戸の日本橋から63番目の一軒家が置かれた場所です。

宮の一角一里塚跡

文政11年(1828)に建てられた常夜灯です。竜の彫り物があるので竜燈とも呼ばれています。地元の方のおかりでこの辺りにはたくさん常夜灯が残っています。